

父親を  
楽しもう

# 今、イクメンがかっこいい



最近、子育てを楽しむ男性が増えています。育児に積極的にかかわるお父さんは、イクメンならぬ「イクメン」と呼ばれ、今注目されています。

女性の社会進出などで共働き世帯が増えている中、子育て中の女性が働き続けるためには、パートナーである男性のサポートが欠かせません。今よりももっとイクメンが多くなれば、女性の生き方や家族のあり方が変わっていくかもしれません。

今月は、男性も女性も仕事と育児両方を充実させるためのヒントを探してみたいと思います。

## 男性だって育児がしたい

夫婦共働きの家庭が多くなっているなか、出産後も仕事を続けたいと望んでいる女性も多くなっています。しかし実際には、仕事と子育ての両立が難しく、働く女性の約6割が第一子の出産前後に仕事を辞めています。

また、男性が子育てに費やす時間は1日30分程度というデータもあり、男性の育児時間が少ないことも女性の負担を大きくしている一因といえます。

一方で、育児に関心を持っていく男性も増えています。内閣府の調査によると、子育て中の父親のうち、仕事と育児に同じくらいかかわりたいという人の割合が約7割に上っており、男性の育児参画に対する意識が高くなっていることがうかがえます。

## 法改正で子育て世代の働き方見直しへ

多くの男性が育児にかかわりたいと思っながら、長時間労働による仕事中心の生活が、男性の育児参画を妨げています。厚生労働省の平成21年度雇用均等基

## 家族が笑顔に



里がたい。パパの健康は家族にも影響する、まずは健康でいてほしいという声があがりました。

男性が育児に関わることは、女性の社会進出を促すだけではありません。子育てを通じて地域の活動範囲が広がり、パパ友ができるかもしれません。

男性が少しの時間でも子育てにかかわる時間が増えることで、女性に集中しがちな子育ての負担を軽くすることができ、男女とも仕事と家庭の両立を図りやすくなります。男性ができることから協力していくことがイクメンへの第一歩といえます。そうして生まれたお母さんの心の余裕が子ども笑顔につながり、家族の笑顔へとつながっていくことでしょう。

## お父さんもお待ちしています

市内の子育て支援センター

市内の各子育て支援センターでは、お住まいの地域で互いに顔見知りになり、情報交換できる場を開放しています。センターでは、絵本やおもちゃを用意し、季節の行事や育児講座なども開催、お母さんだけでなく、お父さんの参加も歓迎しています。お父さん対象の催しを行っているセンターもありますので、ぜひお越しください。

※利用日時や催しなど詳しくは、本紙15日号の「子育て支援センターだより」をご覧ください。



▲座談会で育児について本音を語るお父さんたち

甲賀子育て支援センターで毎月開催している「おとうさんとあそぼう」に参加していたお父さんに子育てで協力していることを聞きました。

▼お父さんにだっこされた有羅ちゃん(左)と心郁ちゃん(右)



ママに誘われて初参加した東谷良輔さん(27)は有羅ちゃん(1)のパパ。「昼間会えない分、毎日のお風呂はふれあいの時間と思っています」。育児に協力的なパパにママも笑顔です。

岩崎延宏さん(34)は、支援センターの催しには2度目の参加とのこと。子どもが好き、という岩崎さんは「お風呂やおむつ替え、小さい時はミルクをあげたりも。幼児番組では子どもと一緒に踊っています」と心郁ちゃん(1)の育児に積極的にかかわります。

「妻は専業主婦ですが、家事と育児を金額に換算すると日当はかなり高額。夫婦2人の子だからできることは協力しなければ」と話すのは山下勝洋さん(33)。あこちゃん(4)とみつきちゃん(8か月)のパパで、市立保育園の保育士でもある山下さんは、「園への送り迎えや参観にもお父さんやおじいちゃんが増えています。子どもや孫にかかわりたい、夫婦で協力して子育てしようという流れがあるようです」とも話します。

## 男性にできる子育てとは？



男性はどのようにして子育てにかかわったらよいのでしょうか。水口図書館で行われた、イクメンパパの絵本読み聞かせ体験と座談会(県立男女共同参画センター主催)を取材しました。

このイベントでは、父親の子育て支援活動を行う「ファザーリング・ジャパン 関西」代表和田憲明さんによるマジックショーや絵本

## イクメンパパ 和田さんが伝授

絵本読み聞かせのポイント

絵本はいつでも子どもとコミュニケーションがとれるツールです。子どもが大好きな、ストーリーのない言葉遊び絵本やこわい絵本、ギャグ絵本など、ママとは違った絵本を違った表現で読めるのもパパの良さです。必ずタイトルから読み始め、最後にもう一度タイトルを読むことで子どもは余韻に浸れます。

絵本は高価ですが、子どもは気に入れば毎日同じ本を読んでほしいるので、十分その価値はあります。お気に入りの絵本を探して読んであげてください。



▲ファザーリング・ジャパン 関西代表 和田憲明さん

の読み聞かせが、参加家族を魅了しました。和田さんは、看護師である妻の育児明けと同時に会社を辞め、現在は主夫業をされています。